

議会だより しずし /

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.211

令和6(2024)年5月1日発行

写真/令和6年4月10日
酒々井小学校入学式



議会HPは
こちらから
Check!

3月
定例会

令和6年度予算及び議案審議等.....P2~P7

委員会・本会議での審議結果.....P8~P11

一般
質問

議員13人が町政を問う.....P12~P19

3月定例会
議案審議

令和6年度予算可決・成立

3月定例会概要

3月定例会は、2月27日から3月8日までの11日間の会期で開催され、町長から提案された議案26件と諮問1件、議員から提案された発議案1件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、発議案を除く議案等は、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

また、町長から「所有権移転登記等請求訴訟の最終報告について」など3件と、教育長からは「青少年交流の家に係る提訴の経過報告について」の行政報告が行われました。

一般質問は、13名の議員が3日間にわたり行い、災害対策やまちづくり地域振興、子育て支援など町政全般について質問しました。(一般質問は12頁、19頁に掲載)



令和6年度当初予算

令和6年度は、第6次町総合計画・前期基本計画の計画期間の中間年度となります。基本計画期間の5年間で特に力を入れて推進すべきと位置付けた3つの重点テーマ「安全・安心」「郷土力」「将来の息吹」の実現を目指しながら、7つの政策分野ごとのまちづくりの基本目標の達成に向けて、限られた経営資源を有効に活用し、取り組みをさらに加速させていくとして、各事業が予算計上されました。

新年度の一般会計予算の総額は、71億9747万3千円で、前年度より5億1862万円(前年度当初比7.8%)の増となりました。

このほかの、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療の特

別会計予算の合計は、41億6121万4千円で、前年度より1億5729万3千円(前年度当初比3.9%)の増となりました。

水道事業と下水道事業の公営企業会計予算を合わせた新年度予算については、各常任委員会にて、執行部からの詳細な説明を受けるとともに、厳正な審査を行いました。

第6次酒々井町総合計画(概要版)はこちらから



令和6年度当初予算書はこちらから



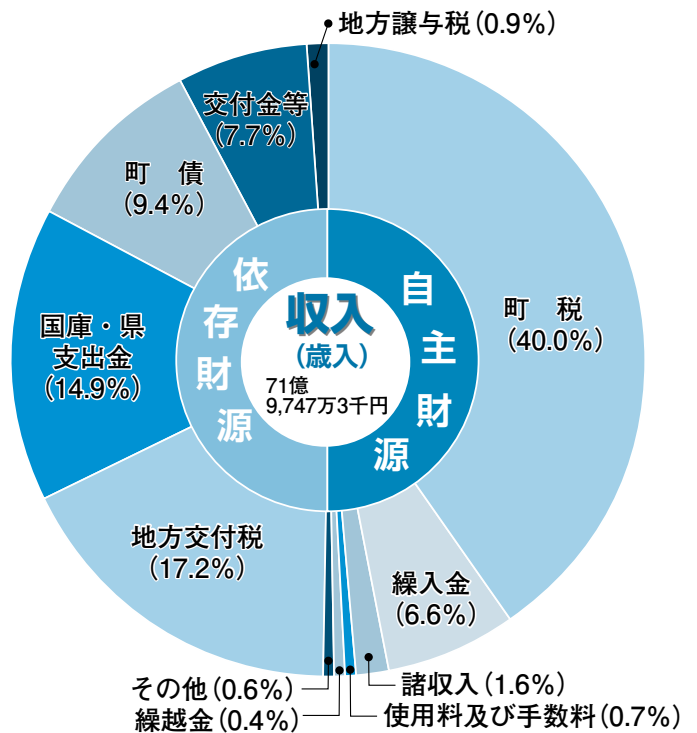
令和6年度各会計予算

区分	令和6年度	令和5年度	前年度当初比		
一般会計	71億9,747万3千円	66億7,885万3千円	+ 7.8%		
特別会計	国民健康保険	21億3,935万4千円	21億6,333万9千円	- 1.1%	
	介護保険	16億287万7千円	14億7,653万7千円	+ 8.6%	
	後期高齢者医療	4億1,898万3千円	3億6,404万5千円	+15.1%	
公営企業会計	水道事業	事業収益	5億4,251万9千円	5億4,180万円	+ 0.1%
		事業費用	5億1,202万9千円	5億584万6千円	+ 1.2%
		資本的収入	2億7,261万4千円	1億5,392万5千円	+77.1%
		資本的支出	4億682万3千円	2億7,385万1千円	+48.6%
	下水道事業	事業収益	3億8,102万4千円	3億7,828万5千円	+ 0.7%
		事業費用	4億6,406万8千円	4億4,339万8千円	+ 4.7%
		資本的収入	8,880万4千円	1億1,199万6千円	-20.7%
		資本的支出	2億60万5千円	2億6,843万6千円	-25.3%

令和6年度一般会計の内訳

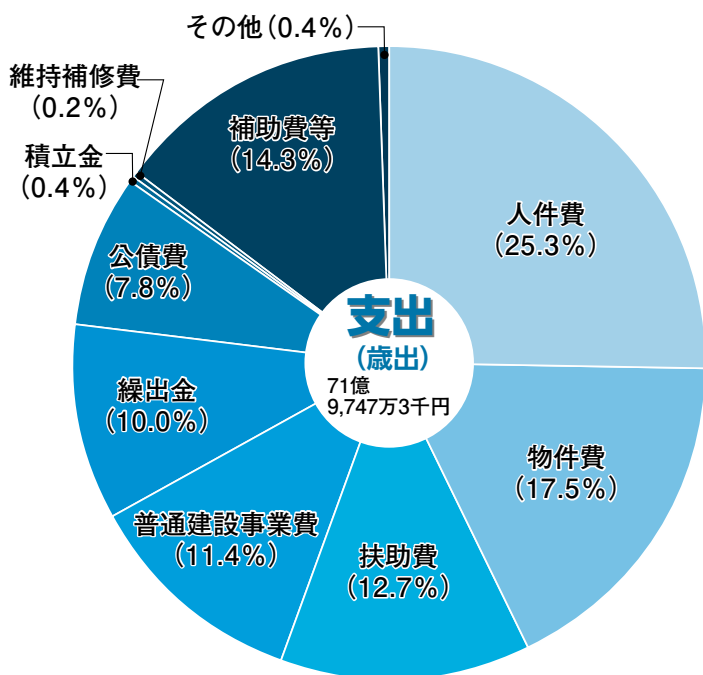


収入(歳入)			
項目	金額	内容	
自主財源	町税	28億8,165万3千円	住民税・固定資産税・たばこ税・軽自動車税・都市計画税など
	繰入金	4億7,315万1千円	基金などから繰り入れるお金
	諸収入	1億1,405万2千円	延滞金、受託事業収入、雑入など
	使用料及び手数料	4,780万1千円	公共施設の利用料金や各種証明書の発行などの手数料
	繰越金	3,000万円	前年度の予算執行の結果、残ったお金のうち、次年度の会計に繰り越されるお金
	その他	4,618万3千円	保育園の保育料など分担金及び負担金や寄付金など
依存財源	地方交付税	12億3,423万6千円	地方自治体の財政格差を小さくするため国が交付するお金
	国庫・県支出金	10億7,524万1千円	国や県が目的を特定して交付するお金
	町債	6億7,290万円	事業を行うために、国や銀行などからの借入金
	各種交付金	5億5,894万5千円	地方消費税交付金、法人事業税交付金など
	地方譲与税	6,331万1千円	国税として徴収し、そのまま地方公共団体に対して譲与するお金



自主財源: 35億9,284万円 (49.9%)

依存財源: 36億463万3千円 (50.1%)



支出(歳出)		
項目	金額	内容
人件費	18億2,067万7千円	特別職及び職員給料、議員報酬など(内議員報酬は4.8%)
物件費	12億6,189万1千円	委託料や備品の購入費など ・町体育館等解体工事 ・ふれ愛タクシー運行業務など
扶助費	9億1,436万円	高齢者、児童、心身障害者等に対するのさまざまな扶助(援助)に要する経費 ・高齢者外出支援タクシー事業 ・子ども医療費など
普通建設事業費	8億1,578万円	道路、橋りょう、学校、公園等の新増設の建設事業に必要とされる経費など ・保健センター大規模改修工事 ・中川調節池整備事業など
繰出金	7億2,219万2千円	他会計に支出される経費
公債費	5億6,365万円	借り入れた町債の返済に係る経費
積立金	2,527万1千円	基金などに積み立てる経費
維持補修費	1,713万8千円	公共施設などの修繕のために必要な経費
補助費等	10億3,165万4千円	一部事務組合への負担金や各種団体に対する補助金など
その他	2,486万円	投資及び出資金、予備費など

令和6年度

注目事業



「酒々井の町づくり」
主な事業内容を説明
した予算の説明

保健センター
大規模改修工事



1億2,837万円

保健センターは、昭和59年に整備されて約40年が経過し、外壁の損傷や空調機の故障等施設の老朽化が顕著である。町民が安心して健康づくりを行えるようにするために、省エネを考慮した大規模改修工事を、令和6年度から令和7年度の2か年にわたって実施。

町体育館解体工事
酒々井小プール解体工事

耐震性や老朽化により、使用を中止していた町体育館と酒々井小学校プールの解体撤去を実施。



9,217万3千円

まるごとしすい

運営事業

定期的なイベント等の開催、特産品等のマーケティング、中小企業・小規模事業者への新たな特産品等の開発や販路の確立等の相談支援を実施。



900万円

中川調節池

整備工事

昨今頻発する水災害等を踏まえ、雨水を一時的に貯留する調節池の整備を実施。



2億円

馬橋川沿岸盛土
緊急対策測量調査業務

馬橋川沿岸の盛土の調査・測量等を実施。



3,252万7千円

アピアランスケア

支援事業

令和6年度より、がん治療や病气、事故による外見の変化による心理的及び経済的負担を軽減するために、ウィッグ等、医療用補助具を購入した方への費用助成を実施。



33万円

町制施行135周年

記念事業

明治22年の町制施行により町として誕生してから一度も合併することなく独立独歩の道を歩み続け、4月に節目となる135周年を迎え、式典の開催や住民提案事業への補助金交付等を実施。



235万6千円

令和6年度予算に関する討論

議案第15号

対 町民の願いや要求に
 応える町政へ

地福 美枝子 議員

新年度予算では、土木事業費が大幅に増額となっているが、必要に迫られていない道路整備費の計上など町民からの要求に
 応えていない。

そして、印旛広域水道事業の出資金が増額となっている。この原因は、霞ヶ浦導水事業の工期延期及び総事業費の大幅増額である。水余りの中、必要のない事業。この事業によって、水道料金が引き上げになる原因にもなる。

また、国保税や介護保険料の引き上げは、物価高騰の中でさらに暮らしを圧迫することになる。

財政難の中でも地方自治体として町民の暮らしを守る本旨に

立ち返り、町民の願いや要求に応える町政への転換を求める。

賛 成 将来都市像に向けた
 施策の推進に期待する

議案第15号
 金塚 学 議員

今回の予算編成は、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の拡大、公共施設の老朽化対策、定年延長義務化による人件費の増加など財政的に大変厳しい状況の中、限られた一般財源の有効かつ効果的な活用と国や県による経済対策や補助金・交付金の活用など工夫と努力がみられている。特に注目する事業は、

長年の懸案事項であった町体育館及び酒々井小プール解体工事、防災・減災対策の中川調節池整備事業、馬橋川沿岸盛土緊急対策測量調査業務、町民の健

康づくりの為の保健センター大規模改修工事などがある。

明治22年の町村制施行以来一度も合併することなく続く町が本年135周年を迎えるが、次の世代へ引き継ぐためにも、第6次総合計画における将来都市像に向けた施策の推進をするため賛成する。

対 議案第15号
 介護保険料の引き上げ
 町民の暮らしを支える
 ものになっていない

竹尾 忠雄 議員

①18歳までの子ども医療費無償化が県内町村では酒々井町だけが実施されていない。②土木

費の大幅増額、特に調節池の用地購入費等約3億円。池の総事業費は5億円との説明だったが池は作って終わりではなく、毎年維持管理が必要となる。また、

多くの自治体では田んぼ貯水池である。③ちびっこ天国施設管理費約60万円が計上されたが、

解体の見通しなく解体費用は増すばかりで、県からの解体撤去費用相当額4億円の基金は現在約1億7千万円となった。④生徒から訴えがある通学路の安全対策は2年前に設計が完了しているにもかかわらず予算計上されていない。他の新たな道路設計に予算計上する逆立ちした町政の転換を求める。

町民の暮らし応援の町政、子育て支援の充実で若い世帯が移住するような施策を求める。町民に負担を求める予算には賛成できない。



議案審査議



この議案に注目!

【議案第6号】 介護保険料の増額と 所得階層の変更

18年間保険料を値上げすることなく介護保険特別会計を運営してきたが、近年の介護給付費が著しく増加し、基金としての蓄えが極めて少ない危機的な運営状況となり、財源を確保するため条例の一部を改正するもの。

改正内容は、将来推計を基に、保険料の月額基準額を1500円増額して5400円とし、保険料区分についても10段階から13段階に変更するもの。
《賛成多数で可決》

討論

対 議案第6号・議案第17号
町民に大きな負担となる
もつと詳細で丁寧な説明が必要である

齊藤 博 議員

令和6年度から三年間、介護保険料が約40%も引き上げられる。介護サービス量が増加となり、介護給付費が増加し、加えて貯金が減っている現状は理解できるが、介護給付費が増加していく数値の想定について私は理解できない。令和6年度以降の介護計画も定まらないのに、国が定めた数式を基に算出したただけだと考える。

町民に、大きな負担をお願いするのだから、もつと詳細で丁寧な説明が必要である。

よつて、議案第6号と議案第17号（令和6年度介護保険特別会計予算）に反対する。



【議案第10号】

一般会計を減額補正

障害者総合支援事務事業に関する扶助費、放課後児童クラブ事業に係る補助金等の緊急を要する経費を増額し、各種事務事業の整理等による決算見込みから減額等の調整を行うもので、1億7399万6千円を減額し、補正後の予算額を73億1896万7千円とするもの。
《賛成多数で可決》

令和5年度補正
予算書(第8号)
はこちらから



【議案第21号】 「まるごとしすい」は 指定管理者制度による 運営に

地域創造発信拠点施設まるごとしすいの指定管理による運営に

「株式会社マグネット」を指定することについて議会の議決を求めるもの。
《賛成多数で可決》

▼指定管理者制度とは▲

多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設管理に民間のノウハウを活用しながら住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的とした制度です。



まるごとしすいの内観

者は、まるごとしすいの委託事業者であったが、商品開発や創業支援について成果を上げていない。利益確保のために物販に力を入れれば、創業支援などは今まで以上におさなりにされる可能性が高い。もう一つは、公平な競争に対する疑念である。指定管理に選ばれた事業者が、アウトレット内のコミュニケーションセンターの委託も受けるということが、募集要項には、「連携」と記載があるが、「委託」とは書いていない。単なる連携だと受け止めていた事業者は900万円の予算だけでプレゼンをするが、委託を知っている事業者は合計1250万円の予算を使ったプレゼンができる。これでは候補者が公平な競争により選ばれたとは言えず、今回の議案に賛成することは出来ない。

討論

対 議案第21号
運営に関する不安や
公正な競争に対する
疑念が残る

白井 則邦 議員

一つ目の反対理由は、事業者の運営に関する不安である。候補



人事案件

【議案第24号】
副町長に齋藤甲一氏を
再任

任期満了に伴い、現副町長である齋藤甲一氏を再任するため、議会の同意を求めるもの。
任期は、令和6年4月1日より4年。
《全員賛成で同意》



齋藤 甲一 副町長

【議案第25号】
教育長に林洋子氏の
任命を同意

木村俊幸教育長の任期満了に伴い、後任として、郡内小学校において教頭、校長を歴任され、退職後は町のために、社会教育指導員や人権擁護委員、教

育委員会委員としてご尽力いただいている林洋子氏を教育長として任命するため、議会の同意を求めるもの。
任期は、令和6年4月1日より3年。
《全員賛成で同意》



林 洋子 教育長

【議案第26号】
教育委員会委員に
大宮綾子氏の任命を同意

教育委員の林洋子氏の辞職に伴い、後任として、長年にわたる保育士として活躍され、退職後は、行政相談委員や保護司として精力的に取り組まれている大宮綾子氏を教育委員会委員として任命するため、議会の同意を求めるもの。
任期は、令和6年4月1日から令和9年9月30日まで。
《全員賛成で同意》



大宮 綾子
教育委員

【諮問第1号】
人権擁護委員に
高梨子淳一氏を推薦

任期満了に伴い、人権問題に深い理解があり人権擁護委員として実績のある高梨子淳一氏を引き続き候補者として推薦するため、議会に意見を求めるもの。
任期は、令和6年7月1日より2年。
《全員賛成で適任》



高梨子 淳一
人権擁護委員

意見書

【発議案第1号】
離婚後共同親権制の導入を柱とする家族法制
見直しの慎重かつ丁寧な議論を求める意見書

- 離婚後共同親権の導入等を柱とする家族法制に関する民法改正要綱案は多くの懸念や問題が残っており、このまま導入すれば現場に混乱をもたらし、子の福祉に反する懸念がある。そのため、性急に進めず、今後も法務省法制審議会家族法制部会において慎重かつ丁寧な議論を継続すべきである。よって、政府に対し、次の事項を強く要望するもの。
1. 今国会での民法改正案提出にこだわらず、DV・虐待被害当事者の参加の下、実態に即した慎重かつ丁寧な議論及び検討を継続すること。
 2. 既存のひとり親支援について、離婚後共同親権の導入により、子どもに不利益が生じることのないように、立法措置を含め関係各省庁と調整をすること。
 3. 離婚家庭における子どもの福祉に及ぼす影響をきちんと議論すること。
 4. 家庭裁判所における適切な調停、審判のための研修体制の強化、人員拡充及び大胆な予算措置の実施をすること。
- 提出者 白井 則邦 議員
賛成者 地福美枝子 議員
川島 邦彦 議員
竹尾 忠雄 議員
齊藤 博 議員
御園生浩士 議員
- 《賛成少数で否決》

各常任委員会での審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎小早稲／○地福高崎／御園生酒瀬川

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第3号	国民健康保険税条例の一部改正	3	1	原案可決
議案第9号	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例一部改正	4	0	原案可決
議案第10号	令和5年度一般会計補正予算(第8号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第15号	令和6年度一般会計予算 ※委員会担当分野	3	1	原案可決

教育民生常任委員会

■住民協働課、健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員 ◎大石／○白井川島／木内岡野／小坂

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第6号	介護保険条例の一部改正	5	0	原案可決
議案第7号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	5	0	原案可決
議案第10号	令和5年度一般会計補正予算(第8号) ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第11号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	5	0	原案可決
議案第12号	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	5	0	原案可決
議案第13号	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	5	0	原案可決
議案第15号	令和6年度一般会計予算 ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第16号	令和6年度国民健康保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第17号	令和6年度介護保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第18号	令和6年度後期高齢者医療特別会計予算	5	0	原案可決

経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会についての審査を担当

委員 ◎江澤／○竹尾齊藤／金塚綿貫

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第4号	水道事業の設置等に関する条例及び酒々井町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第5号	水道給水条例及び酒々井町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第8号	都市公園条例の一部改正	3	1	原案可決
議案第10号	令和5年度一般会計補正予算(第8号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第14号	令和5年度下水道事業会計補正予算(第5号)	4	0	原案可決
議案第15号	令和6年度一般会計予算 ※委員会担当分野	3	1	原案可決
議案第19号	令和6年度水道事業会計予算	4	0	原案可決
議案第20号	令和6年度下水道事業会計予算	4	0	原案可決
議案第21号	地域創造発信拠点施設まるごとすいの指定管理者の指定	3	1	原案可決

本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× 欠席・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	3月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長
<条例の一部制定>																		
1	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正…ひとり親家庭等に対する医療費の助成事業で、申請者の負担軽減を図ることを目的に、行政手続における特定の個人を識別するための番号制度を利用できるよう条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正…令和6年度から勤勉手当の支給を行うために条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	国民健康保険税条例の一部改正…後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を20万円から22万円に改めるもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
4	水道事業の設置等に関する条例及び酒々井町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正…地方自治法に公金事務の私人への委託に関する制度の見直し等に関する事項が新たに追加されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	水道給水条例及び酒々井町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正…国の水道行政における水質または衛生に関する事務権限が厚生労働大臣から環境大臣に、それ以外の権限については国土交通大臣に移管されることに伴い、条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	[掲載：5ページ～6ページ] 介護保険条例の一部改正…令和6年度から令和8年度までの3か年を計画期間とする「第9期介護保険事業計画」の策定に伴い、介護保険料の増額と所得階層の変更を行うため、条例の一部を改正するもの。	可決 賛11・否4	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
7	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正…身体的拘束等の適正化の推進や各事業所の管理者の責務及び兼務範囲の明確化など、国の基準で定める所要の規定の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
8	都市公園条例の一部改正…開発行為に伴い、尾上、伊籾地区で新たに整備した公園を本条例へ位置づけするもの。また、酒々井総合公園テニスコート・野球場・球技場の使用料金の改正を行うため、条例の一部を改正するもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
9	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正…転勤や介護、育児等のやむを得ない事情により、一定期間職務に従事できなくなる消防団員に向け、新たに休団制度を設けるため、条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成・・○ 反対・・× 欠席・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	3月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長	
<令和5年度補正予算>																			
10	[掲載：6ページ] 一般会計補正予算(第8号) …障害者総合支援事務事業に関する扶助費、放課後児童クラブ事業に係る補助金等の緊急を要する経費を増額し、各種事務事業の整理等による決算見込みから減額等の調整を行うもので、1億7,399万6千円を減額し、補正後の予算額を73億1,896万7千円とするもの。	可決 賛12・否3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	—	
11	国民健康保険特別会計補正予算(第3号) …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、3,258万3千円を減額し、補正後の予算額を21億5,456万円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
12	介護保険特別会計補正予算(第3号) …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、7,527万円を増額し、補正後の予算額を16億484万1千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
13	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、1,242万9千円を増額し、補正後の予算額を3億7,723万1千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
14	下水道事業会計補正予算(第5号) …収益的支出を1,203万6千円を増額して、補正後の予算額を4億5,810万1千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<令和6年度予算>																			
15	[掲載：2ページ～5ページ] 一般会計予算 …予算総額を71億9,747万3千円とするもの。 (前年度比 5億1,862万円、7.8%の増加)	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	
16	[掲載：2ページ] 国民健康保険特別会計予算 …予算総額を21億3,935万4千円とするもの。 (前年度比 -2,398万5千円、1.1%の減少)	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	
17	[掲載：2ページ] 介護保険特別会計予算 …予算総額を16億287万7千円とするもの。 (前年度比 1億2,634万円、8.6%の増加)	可決 賛12・否3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	
18	[掲載：2ページ] 後期高齢者医療特別会計予算 …予算総額を4億1,898万3千円とするもの。 (前年度比 5,493万8千円、15.1%の増加)	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	
19	[掲載：2ページ] 水道事業会計予算 …収益的収入を5億4,251万9千円、収益的支出を5億1,202万9千円とし、資本的収入が2億7,261万4千円、資本的支出が4億682万3千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
20	[掲載：2ページ] 下水道事業会計予算 …収益的収入を3億8,102万4千円、収益的支出を4億6,406万8千円とし、資本的収入が8,881万4千円、資本的支出が2億60万5千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× 欠席・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	3月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長	
<指定管理者の指定>																			
21	[掲載：6ページ] 地域創造発信拠点施設まるごとしすいの指定管理者の指定 …株式会社マグネットを指定管理者に指定することについて、議会の議決を求めるもの。	可決 賛9・否5	○	○	○	×	○	×	○	棄権	○	×	○	○	×	×	○	—	
<諮問>																			
1	[掲載：7ページ] 人権擁護委員の推薦 …高梨子淳一氏の推薦につき、議会の意見を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<追加議案>																			
22	税賦課徴収条例の一部改正 …1月に発生した能登半島地震により、住宅等に資産の損失が生じた時は、令和6年度分の個人住民税に、その損失金額を雑損控除の適用対象とすることができる特例を設けるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
23	一般会計補正予算(第1号) …低所得者支援を補足する給付として、個人住民税均等割のみ課税される世帯への給付として1世帯あたり10万円を支給する事業等に要する経費として合計6,908万3千円を追加し、補正後の予算額を72億6,655万6千円とするもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
24	[掲載：7ページ] 副町長の選任 …齋藤甲一氏の選任につき、議会の同意を求めるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
25	[掲載：7ページ] 教育長の任命 …林洋子氏の任命につき、議会の同意を求めるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
26	[掲載：7ページ] 教育委員会委員の任命 …大宮綾子氏の任命につき、議会の同意を求めるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
<発議案>議員提出による議案																			
1	[掲載：7ページ] 離婚後共同親権制の導入を柱とする家族法制見直しの慎重かつ丁寧な議論を求める意見書の提出について …離婚後共同親権の導入等を柱とする家族法制に関する民法改正要綱案は多くの懸念や問題が残っており、このまま導入すれば現場に混乱をもたらし、子の福祉に反する懸念がある。そのため、性急に進めず、今後も法務省法制審議会家族法制部会において慎重かつ丁寧な議論を継続すべきである。よって、政府に対し、強く要望するもの。 (提出者 白井則邦 議員 他5名)	可決 賛7・否8	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	—

一般質問

町の考えを問う

ここが聞きたい

一般質問とは、議員が、事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を町長などの執行機関に求めることです。

3月定例会では、3月6日から8日までの3日間で13名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。

※今回の令和6年第2回定例会の会議録（6月上旬発行予定）は、インターネットまたは町図書館でご覧いただけます。



1 (P13)	御園生 浩士 議員	▶ 令和6年度予算（案）等について
2 (P13)	大石 法子 議員	▶ 災害対応 ▶ 町民の健康延伸 ▶ AEDについて
3 (P14)	岡野 義広 議員	▶ 産業・経済の活性化 ▶ 協働・コミュニティについて
4 (P14)	地福 美枝子 議員	▶ 国保税について ▶ ワクチン接種補助 ▶ 地震発生時の対応
5 (P15)	金塚 学 議員	▶ 子育て支援の拡充 ▶ 地域経済の振興・発展と賑わいのあるまちづくりの推進 ▶ 文化が香るまちづくりの推進 ▶ 安心・安全に暮らせるまちづくりの推進
6 (P15)	白井 則邦 議員	▶ 子どものインフルエンザ予防接種費用の助成 ▶ 酒々井町民話絵本作成 ▶ 相続登記義務化、空き家バンクの周知方法 ▶ 酒々井町奨学給付金 ▶ 墨古沢遺跡整備基本計画
7 (P16)	川島 邦彦 議員	▶ J A跡地利用
8 (P16)	木内 信子 議員	▶ 町民集いの場 ▶ 道路の維持管理
9 (P17)	齊藤 博 議員	▶ 墨古沢遺跡整備計画及び文化財の整備計画 ▶ 京成電鉄車両基地の整備に係る周辺地域への取り組み ▶ 公共施設の跡地利用 ▶ 中川治水対策
10 (P17)	小早稲 美穂 議員	▶ 町の上下水道事業 ▶ デジタルツールの利便性の向上
11 (P18)	竹尾 忠雄 議員	▶ 能登半島地震の教訓を生かした対策 ▶ 通学路の安全対策（上岩橋上郷地区） ▶ 令和5年度決算特別委員会での意見・要望事項 ▶ 学校給食 ▶ 先の12月定例会における町長の発言
12 (P18)	小坂 和也 議員	▶ 公園の利用方法
13 (P19)	江澤 眞一 議員	▶ 酒々井町防災計画 ▶ 中川調節池 ▶ 県道富里・酒々井線

※各議員の質問事項については、本誌に掲載してある質問をゴシック体で表記しています。



議会の様子（録画）を公開しています

議員下のQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本会議録画中継
はこちらから→





調節池とは河川に雨水等が一気に流れ込まないように一時的に貯水する池です
※画像はイメージです



問 調節池整備に係る総事業費はいくらか

答 約5億円と見込んでいる

問 調節池整備事業は、「町長の一目一番地の事業」であるが、20年近く経過し、完成の道筋が見えない。その間、町民は水害の被害を念頭に置き、怯えながら生活してきた。今回の予算額は本気度が見えるが、事業の総事業費と完成予定時期を伺う。また、被害に遭った近隣住民は、今後被害を受けることはないのか。

まちづくり課長 総事業費は約5億円で、令和7年度の完成を目標としている。流域治水施策の一つであり、住民に被害がでないように調節池を設置する。



御園生 浩士 議員



問 通称「横町の道路事業」は、工事が長期化し、地域住民に迷惑をかけているが、事業の総予算と完成年月を伺う。

まちづくり課長 昨年12月議会で繰越明許設定の議決をもらった予算額2529万9千円で実施し、事業完了は令和6年度末を予定している。

問 放課後児童クラブは、各施設で何人オーバーしているのか。また、町ではどの様な対策を行っているのか伺う。

こども課長 令和5年4月1日時点で、酒々井小学校の放課後児童クラブは定員100名に対し、109名の申請があり、大室台小学校は60名に対し68名の申請があった。民間の放課後児童クラブが増えたことから、令和6年度予算では、前年度と比較して1435万4千円の補助金を増額した。

問 珠洲市へ職員を派遣したが、経験をどう活かしていくのか

答 防災訓練、出前講座などで、活かしていく

災害対応について伺う。

問 内閣府男女共同参画局が自治体向けに作成した「防災・復興ガイドライン」の避難所運営に関するポイントの主なチェック項目について、当町の進捗状況は整っているのか。

総務課長 主なチェック項目は5つあり、町の避難所運営マニュアルでは概ね整っている。なお、指定避難所の環境がそれぞれ違うことから、これらを補うため、企業と災害時のレンタル資機材等の協定を締結しているが、引き続き、企業との協定締結などについて検討していく。

問 当町職員を珠洲市に派遣したが、帰庁した職員からの報告を町ではどのように活かしていくのか。

町長 派遣した職員からは、地域の絆の強さ、日頃の地域コミュニティの大切さを痛感するとともに、被災自治体としては、それぞれの立場で役割を果たすこと、「自助」「共助」「公助」の重要性を再認識したとの報告があった。今回の支援活動で得た経験を「防災訓練」や「ぼうさい出前講座」などを通



大石 法子 議員



じて、各種防災対策に活かしていきたい。

町民の健康延伸施策の充実を

問 带状疱疹ワクチン接種の費用は高額なことから接種費用の一部を助成する自治体が増えてきた。以前から要望しているが当町の考えを伺う。

健康福祉課長 带状疱疹ワクチンは、予防接種法に基づかない予防接種のため、町では接種費用の助成は実施していない。国や他市町村の状況等を注視していきたい。

問 ヘリコバクターピロリ菌は胃がんの最大原因とされている。胃がん検診時にピロリ菌検査の追加と検査費用の助成ができないか、当町の考えを伺う。

健康福祉課長 ピロリ菌検査を実施した場合でも、現在町で行っている胃部エックス線撮影等の検査は必要となる胃部エックス線撮影とピロリ菌検査を併用している自治体もあることから、有効性や他市町村の実施状況などを注視していきたい。

問

食料安全保障の強化には農家の所得の底上げが必要ではないか

答

高付加価値作物の栽培等により所得向上を目指したい



岡野 義広 議員



問 食料・農業・農村基本法の改正が今国会に提出されたが、法改正はもとより、まずは日本の食料安全保障を強化するには農家の所得を底上げする必要が不可欠と考えるが、町長の考え方を伺う。

町長 農用地区域における農地の区画拡大や水田の汎用化、すなわち需要に応じた畑作物栽培を可能とすることにより二毛作が可能となり、高付加価値作物の栽培、また、所得向上を目指して地域の合意形成が得られた所からモデル地区を定め、なるべく農家の負担がかからないよう町の資材支給制度等を活用しながら排水路等の農業施設の整備を進めていきたい。

問 J R酒々井駅と京成酒々井駅を結ぶ中心市街地への商業事業者の誘致活動の推進について状況を伺う。

経済環境課長 空き店舗の所有者には「空き家バンク制度」への登録を働きかけていく。また、創業支援補助金の活用を広報するとともに、町商工会と連携を図りながら誘致活動に取り組んでいきたい。

問 将来に希望を持って頑張る起業家や創業者への支援策について伺う。

副町長 創業ワンストップ窓口を開設している町商工会や創業スクールを実施している千葉県信用保証協会と連携を図り、支援に努めていく。

高齢化の進む自治会への対策は

問 酒々井町の自治会等の会員及び役員の高齢化が進んでいるが、その状況を把握しているのか。町はその状況どう考え、それに対する具体的な施策はあるのか伺う。

住民協働課長 個別に相談のあった自治会については把握している。町は自治会のメリットを説明するとともに、ホームページによる啓発を行っている。

問 町民と行政の協働の推進・コミュニティ活動の支援などの面から、ホームページや文書による一方的なお知らせだけでなく、今後酒々井町で増々進む高齢化の対応、自治会等で抱える諸問題の解決等のために、関係者を集めた研修会や講演会を開催すべきと思うが、どのように考えるか伺う。

住民協働課長 現在開催の予定はない。

問

千葉県統一の国民健康保険税 町はどう考えているのか

答

国保会計を安定させるため県の方針に沿っていく



地福 美枝子 議員



国民健康保険税について伺う。

問 全県統一の国保税にする方向をどう考えるか。国民健康保険は互助会ではなく、社会保障制度ではないのか。

健康福祉課長 県では国保税統一に向けた取り組みを進めている。将来的に同じ所得水準、世帯構成であれば県内同額の国保税となる。当町も国民健康保険特別会計の運営を安定させるため、千葉県の方針に沿って進めていきたい。

問 町の国保税は今後どうなるのか。

町長 給付と負担のバランスをとっていく必要があると考えている。

問 18歳以下の国保税を減免するのに要する額はいくらか。

税務住民課長 1月末現在の試算では、520万円程度となる。

問 国民健康保険法により国保税の減免(77条)と医療費自己負担金の減免(44条)があるが、それぞれの利用状況と周知方法を伺う。

健康福祉課長 国保税減免は、今年度64名、79万8900円で、納付書に案内のチラシの同封や町ホームページに掲載している。医療費自己負担金の減

免は令和元年度に1人で、現在は周知していないが、個別対応を行っている。

ワクチン接種の補助を

問 肺炎球菌感染症及び带状疱疹ワクチンの接種状況と任意での補助ができないか伺う。

健康福祉課長 肺炎球菌感染症ワクチンは5歳未満まで全額公費負担している。65歳の方は一部公費負担としている。特別措置で100歳まで一部公費負担を行っていたが、令和6年3月で特別措置は終了した。带状疱疹ワクチンは個人の判断で接種することになる。

避難所における各種対策は

問 避難所となる学校体育館へのエアコン設置について町の考えを伺う。

総務課長 財政状況を踏まえた上で、関係課が連携し、検討すべき課題と考えている。

問 犬・猫などの避難対応について、どのように考えているか。

総務課長 関係課とペット受入れスペースの調整を行っているが、居住スペースにペットと同伴避難はできないこととしている。

問

高校生まで通院費補助を拡大し、償還払いから現物給付に切り替えを

答

通院費の補助まで拡大する際には現物給付に切り替えたい



金塚 学 議員



問 高校3年生までの通院費補助が拡大されれば、高校生の医療費も現物給付に切り替わる予定なのか伺う。

答 通院費の補助まで拡大された際にはシステム改修を行い、現物給付に切り替えていきたいと考えている。

農業経営の改善に取り組むべき

問 「農地利用効率化等支援交付金」などを利用して地域が目指す将来の農地集約化に重点を置いた農地利用についてどのように考えるか伺う。

答 当町の農村風景は重要な財産である。この農村風景を維持するためには農地の集約化も必要と考えていることから、当該交付金の活用について研究していきたい。

文化が香るまちづくりの推進を

問 町の第6次総合計画の「観光」に掲げる、観光振興体制構築のため、観光を牽引する役割のDMO（観光地域づくり法人）等の設立支援の進捗はどうなっているのか伺う。

答 令和3年度までに計7回のDMO設立に向けた勉強会を開催



している。今後は観光協会的な組織の「目的」「コンセプト」等を素案として、団体や関係者等の参加を得て、自律的で継続的なDMO等の法人化に向けた設立支援の検討を行っていく。

狂犬病予防接種の徹底を

問 他県で飼い犬が逃げ、多くの人に噛みつくという事故が発生したが、町では狂犬病予防接種の飼い主への通知と調査は徹底されているのか伺う。

答 4月初旬にお知らせと問診票を郵送しているが、新規登録や未登録の犬については、町で把握できないので、広報紙等で狂犬病予防注射のお知らせ等の周知に努めている。登録されているものの注射済票等の交付記録がない飼い主には通知をし、狂犬病予防注射等を促している。

問

子どものインフルエンザ予防接種費用の助成を検討しているのか

答

任意の予防接種であり、検討していない



白井 則邦 議員



問 子どものインフルエンザ予防接種費用助成は検討しているのか。

答 子どものインフルエンザ予防接種は予防接種法に基づかない任意の予防接種と位置づけられている。任意の予防接種は健康被害があった場合、国の補償が受けられないため、子どもへの費用助成は検討していない。

酒々井の民話を残すために

問 酒々井町の民話は、何話くらい確認されているのか。また、酒々井町民話絵本の今後の発刊予定は。

答 約180話を確認している。新たに絵本を作成する計画はないが、令和6年度は絵本のCD化を行い、その後、Web掲載や図書館での電子書籍サービスを進めていきたい。

相続登記・空き家バンクの周知徹底を

問 相続登記義務化の町民に対する周知方法として、どのようなことを検討しているのか。

答 ポスター掲示やチラシの配布、固定資産税納税通知書に同封しているチラシの中に相続登記の義務化等を盛り込み周知を行っている。



日本最大級の規模を誇る旧石器時代の墨古沢遺跡

外国人学校も奨学給付金の対象に

問 酒々井町奨学給付金の対象に、外国人学校を含めないのか。

答 町奨学給付金は学校教育法に規定する高等学校等を対象としており、現段階では検討していない。

墨古沢遺跡の整備費用等の見込額を

問 墨古沢遺跡整備基本計画における整備費用、維持管理費、運営費の額は、生涯学習課長 作成中の基本設計の完成が3月下旬のため、答弁はできない。

問 J A跡地の駐車場整備だけでは不十分と思うが

答 来訪者の誘客など、一定の経済効果があると考え



川島 邦彦 議員



問 東酒々井のJ A跡地取得から5年目になる。そこで利活用の検討状況と今後の対応を伺う。

まちづくり課長 都市構造再編集中支援事業を活用して駐車場整備を予定しているが、国の採択要件の変更があったことから事業採択に向け県と協議をしていることから、現時点では見通しは立っていない。

問 駐車場として整備を検討中とのことだが、町内・町外別の利用者数などをどのように想定しているのか。また、無料で開放するのか。

まちづくり課長 利用者の内訳は現時点では想定していない。駐車料金は地域経済の活性化等を踏まえて今後検討していく。

問 具体化に向けた事業の着手時期及び完了時期を伺う。

まちづくり課長 事業の見通しが立っていないことからお示しできない。

問 取得時に想定した建物の撤去費見積額を明らかにされたい。

経済環境課長 当時の概算額は約3000万円となっている。

問 利活用に伴う経済効果と根拠は。まちづくり課長 駐車場整備することにより、来訪者を町中に誘客できるなど一定の経済効果があると考えている。

問 東酒々井は商業施設の魅力や幹線道路とのアクセス向上が必要であり、駐車場整備を先行するのはいかがか。そこで、道路改善の現状を伺う。

副町長 国道51号と国道296号を連絡する消防署前の道路等の延伸が東酒々井地域と幹線道路との連絡機能強化に資する路線と認識している。

問 国道296号線「墨入口交差」の拡幅工事等の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 県から交通量を調査し、結果を踏まえ、交差点改良を含めた対策を検討していくと聞いている。

問 国道51号とのアクセス向上のため、中川踏切(くすりの福太郎前)の現状をどのように捉えているのか。

まちづくり課長 中川踏切は状態を維持していく。

問 J R跨線橋の開通は断念したのか。町長 地域の方から、交通量や騒音等の意見もあり、難しいと考えている。

問 高齢者の居場所づくりの推進を

答 「げんき館」の他に、集会所等を交流の場として活用していきたい



木内 信子 議員



問 交流拠点施設「げんき館」の使用状況を伺う。

健康福祉課長 オープン以来一年半が経過し、げんき館は地域に定着し始めており、ニーズに応えるイベントを開催している。令和4年度(9カ月間)は1611人、令和5年度(12月末までの9カ月間)は3176人と増えている。1日10人程度の来館者があり賑わいを見せている。



高齢者と多世代の交流の場となる「げんき館」

問 地区ごとに「げんき館」のような交流施設を設ける計画はあるのか。

健康福祉課長 現時点で新たな施設の設置計画はないが、既存の集会所等を交流の場として活用できる働きかけを進めていきたい。また、出前講座など

を行い、多くの方が参加しやすい環境を提供していきたいと考えている。

道路の維持管理徹底を

問 道路標示が摩耗して見にくい場所があり、交通事故を未然に防止する上でも補修が必要と感じているが、このような道路の維持管理について伺う。

まちづくり課長 週に1回程度職員による道路パトロールや住民等からの通報により職員が現地を確認するなどして、補修をしている。

問 道路沿いの白線は綺麗に引き直されたのに、横断歩道は引き直されていない場所がある。その理由を伺う。

まちづくり課長 横断歩道や停止線など規制を伴う道路標示は警察の管轄になる。町は警察に要望をしている。



問 墨古沢遺跡整備のオープン予定はいつか

答 令和11年度の完成を目指している



齊藤 博 議員



墨古沢遺跡整備は、莫大な費用等を要する事業であるが、次の点を伺う。

問 ①オープンの予定、②事業費及び財源の見通し、③管理、運営の見通し、④人口2万人規模の自治体で博物館を管理、運営している例はあるのか。

生涯学習課長 ①令和11年度完成を目指して計画を進めていきたい。②事業費は現在作成を進めている整備の基本設計の完成が3月下旬のため、答弁はできない。財源は国・県補助金を活用し、起債の充当を有効的に行いながら、計画的に無理なく進めて行けるように関係課等と協議を進めている。③町が主体的に進めながらも、地元諸団体、地域住民との連携、地元企業との協力、ボランティアガイドなど適切な役割分担により管理・運営が進められるよう体制づくりに努めていきたい。④把握していない。

車両基地の整備、地域への取組みは

問 昨年末に京成電鉄による車両基地拡充に伴う工事説明会が行われたが、質問時間は短く設定され、質問ができない人も多く、不満足な説明会であつ

た。京成電鉄との事前協議に際して、町が了承した事項及び要求した事項を伺う。

まちづくり課長 町道の整備等について、京成電鉄と詳細を協議している。一部区間を除いて幅員10メートルの町道が整備される予定であり、また、廃止される町道を補償する道路として7メートルの町道が整備される予定である。いずれも既存の町道よりも広い幅員で整備される予定であり、町道の機能としては向上することになる。

問 今後、関係者に対する具体的な説明会等は予定されているのか。

まちづくり課長 京成電鉄には道路工事のスケジュールの確認を行っている。京成電鉄からは「準備が整い次第関係者の皆様に周知したい」と伺っている。

問 車両基地周辺の町道は狭く、現在はアウトレットへ行く車で混雑している。車両基地への来客による交通事情について想定を伺う。

まちづくり課長 工場であり、集客施設ではないので、周辺道路に影響は無いものと考えている。

問 税金投入のできない下水道事業の経営は健全なのか

答 下水道使用料見直しのため、改定方針の策定に取り組んでいく



小早稲 美穂 議員



問 当町の上下水道は共に90%以上敷設されており、敷設開始から50年ほど経過している。資産更新には多額の費用を要するため、現在実施している下水道長寿命化支援制度を活用するとともに、ストックマネジメントに基づき長寿命化を図りつつ、将来の人口減少を加味しながら、下水道の防災・減災の総合的な災害対策を考慮した資産更新を行う必要がある。平成9年に消費税の料金改定しかしていない下水道使用料を改訂し、経営の健全化を図るよう検討されてはどうか。

副町長 町上下水道事業運営審議会に今後の「下水道使用料の在り方」について諮問し、審議をお願いしたところ、下水道使用料の見直しに取り組むべき旨の答申を得たことから、累積赤字の解消と独自財源の確保を目標に改定方針の策定に取り組んでいきたい。

問 耐震性のある下水管路への布設替えはどの程度進んでいるか。

上下水道課長 約31%の更新率となっている。
問 町内の下水道管や印旛沼流域下水

道本管破損時に酒々井町から出る下水を処理する移動式の仮設処理施設を持つ事業者との協定は考えているか伺う。

上下水道課長 仮設設備での対応が可能なのか、併せて設備を有する事業者と協定を締結できるのか検討したい。
問 町上下水道事業運営審議会の答申では使用料の2割の増額とあるが、それで欠損金5千万円を補填できるのか。

上下水道課長 審議会からの付帯意見で累積赤字解消のため30数%の改定も必要ではとの意見も出されているので、改定方針の中で検討していきたい。

デジタルツールの活用を
問 町民の利便性の向上を考え、町のLINEにリッチメニューを作成し、町政情報、防犯・防災、イベント情報等、更には、駐輪場の予約登録やイベントの参加申し込みなどに使用できるようにしてはどうか。

問

避難所となる体育館に国の交付金を活用して空調設備を設置すべき

答

学校施設の整備を検討する中で考えていく



竹尾 忠雄 議員



問 体育館は災害時に避難所となるが、環境改善と児童・生徒の健康を考えると空調設備は必要である。国の学校施設環境改善交付金を活用して空調設備を設置するべきと考えるがいかがか。

こども課長 空調設備は多額の費用を要するため、関係課と協力しながら同交付金の活用も視野に入れつつ学校施設の整備を検討する中で考えていく。

「通学路の安全確保」なぜ実施しない

問 上岩橋上郷地区の通学路は、安全対策のため、令和4年度に実施設計を行った。令和6年度予算に工事費が計上されていない理由を町長に伺う。

町長 町内道路整備の進捗や優先順位を勘案しながら、現道の幅を考慮した効果的な交通安全対策を検討している。

決算委員会の意見を検討されたのか

見について次の点を伺う。

問 ふれ愛タクシーを1台減車したため、利用者から不満の声を聞いている。「早期に4台体制に戻し、利便性の向上を図りたい」との意見に対し、町は検討されたのか。

健康福祉課長 アンケート等を参考にするとマイナス点が多いこと、経費面では増額分が大きいことから増車はできないとした。

問 「ちびっこ天国について、今後の利用方針を早急に決められたい」との意見に対して町は検討されたのか。

経済環境課長 個別施設計画における方針により検討を行っているが、妙案には至っていない。

学校給食の委託による影響は

問 富里市への学校給食の委託により、町内炊飯業者の経営は守られるのか。

教育次長 米飯は引き続き町内事業者が行えるように富里市と協議している。

問 町内の農家による食材供給は継続されるのか。

学校教育課長 米は町内産で協議している。野菜等は富里市産が中心になるが、割合について協議している。

問 現在発行している「センター通信」は継続されるのか。また、配置されている栄養士2名の処遇はどうなるのか。

教育次長 栄養士の業務は協議しており、配置等も検討していきたい。

問

誰もが楽しめる公園のルール作りが必要では

答

先進自治体の事例等を参考に検討したい



小坂 和也 議員



問 以前、公園でのボール遊びについて質問したところ、公園でのボール遊びは禁止しているとの答弁があった。しかし、高齢者はゲートボールをしているにも関わらず、子どもたちがボール遊びをしていると注意されるという事態や条例でボール遊びの禁止が規定されていない理由から、住民同士の争いの火種になってしまいうケースも耳にしている。今後の公園利用方法についてルールの見直しが必要と考えるが、町はどのように考えているのか伺う。

まちづくり課長 条例により「公衆の公園の利用に支障を及ぼす行為」や「公園を損傷する行為」など最低限の行為を禁止しており、過去に幼児や高齢者にボールが接触する事案が発生した公園では、看板等によりボール使用を禁止している公園もあると答弁した。高齢者によるグラウンドゴルフ等については、公園使用申請により許可をしている。また、今年度も公園施設が破損される事案も見受けられたことから、ボール使用については慎重にならざるを得ないと考えている。



問 ボール遊びを禁止しているのは、どの公園か。

まちづくり課長 S L公園、美空公園、上ヶ作緑地の3箇所となる。

問 規制後の管理について、町はどのように行っているのか。

まちづくり課長 公園利用者から通報があった場合、現地で指導を行っている。

問 船橋市ではボール遊びができる公園を明確化している。公園利用者のすみ分けができると思うが、いかがか。

まちづくり課長 公園や利用者の状況、先進自治体の実態など、情報収集して検討していきたい。

問

各避難所における停電時の対応は

答

発電機を配備しているが、電力会社等と協定も締結している

震災対策について伺う。

問 備蓄品の現状を具体的に伺う。

総務課長 主な備蓄品は、アルファ米や備蓄パン、飲料水、その他、各種の衛生用品などを備蓄している。また、民間企業や他自治体との災害協定により、物資の確保に努めている。

問 各避難所における停電時の対応について伺う。

総務課長 発電機を配備しているが、施設全体を補えないため、電力会社との協定により、早期復旧、電源車の派遣要請等が行えるように努めている。問 避難時要援護者の人数と対応について伺う。

健康福祉課長 要支援者は令和6年1月末時点で217名いる。昨年の台風時には、名簿を活用して健康福祉課等で安否確認や避難誘導等を実施した。問 各集会所を避難所にすべきと思うが、町の考えを伺う。

副町長 他自治体で運用しているの、事例等を参考に検討していきたい。問 福祉避難所が必要と考えるが、町の考えを伺う。



江澤 眞一議員

健康福祉課長 状況に応じて町社会福祉施設協議会に協力を依頼している。

問 ペット同伴の避難所について町の考えを伺う。

総務課長 施設を所管する関係課とペット受入れスペースについて調整を行っている。なお、居住スペースには同伴避難はできないこととしている。

早期の中川調節池整備を

問 中川調節池事業の現状と来年度の事業計画を伺う。

まちづくり課長 現在、用地交渉を進めており、来年度は用地取得と取得した所から工事に着手していきたい。

県道富里・酒々井線の改修工事が必要

問 県道富里・酒々井線について伺う。

問 舗装改修工事が必要と考えるが、まちづくり課長 道路管理者である県に要望している。来年度は部分的な舗装修繕を行うと聞いている。

問 古沢橋の改修工事予定、また、歩道整備事業について伺う。

まちづくり課長 県からは早急な修繕を行う予定はないと聞いている。歩道整備は、町から県にお願いしている。

傍聴案内

議会本会議を傍聴してみませんか



酒々井町議会は、毎年3月、6月、9月、12月の年4回開かれる「定例会」と、補正予算の審議など必要に応じて特定の事件に限って開かれる「臨時会」があります。

本会議は一般に公開されており、どなたでも傍聴することができます。

傍聴のしかた

傍聴を希望される方は、本会議が開かれる当日、直接、町役場中央庁舎3階の傍聴受付までお越しください。

- ①傍聴受付には、エレベーターまたは階段で3階まで上がってください。
②受付票に住所・氏名・年齢をご記入いただき、回収箱にご提出ください。
③傍聴券の交付を受けた後、係員の指示に従って静かに傍聴していただきます。

インターネット議会中継

本会議の様子をインターネットでライブ中継配信を行っています。また、過去の本会議の様子は、録画中継でご覧いただけます。ホームページまたはQRコードより

アクセスしてご覧ください。



本会議の日程については、事前にホームページで確認するか、議会事務局にお問い合わせください。

更なる議会改革の取り組みを推進

酒々井町議会では、町議会の在り方などを調査・検討するため、「議会改革特別委員会」を設置することとした。議員任期の1年前となる令和8年4月までには検討結果を皆様にお知らせします。

セーフティアドバイザー

に聞きました

- ① あなたにとって酒々井町とはどんなところですか？
- ② 活動でのやりがいとは何ですか？
- ③ 町にどのようなことを期待しますか？

- ① 自然と歴史が調和し交通の利便性も良く将来性のある町です。
- ② 防犯ボックスがあることで、地域住民の方に安心感を与えられることです。
- ③ 住民の方々が安全で安心に暮らせる街づくりを継続してほしいです。



しっち まさみ
悉知 正巳 さん

- ① 歴史と伝統のある自然豊かで住みやすい環境の町です。
- ② パトロール活動等により、安全で安心な町づくりに貢献できることです。
- ③ 犯罪を少しでも減らせるよう一人ひとりが防犯意識を持ち、安全安心な町づくりに努めてほしいです。



おがた いさお
尾形 功 さん

- ① ボランティア団体、自治会等による防犯意識が高く、安全で安心な住みよい町です。
- ② 安全で安心な町づくりのため、住民の方々と一体化となり、犯罪の撲滅化を図ることで。
- ③ 現在の方針を推進し、各種情報の共有と連携を図り、住民の安全安心確保のため、実態に沿った活動を実施することです。



のぐち たいぞう
野口 泰三 さん



防犯ボックスでは、警察官 OB であるセーフティアドバイザー 3 名が交代で勤務しています。

自主防犯団体等との合同パトロールや子どもたちの見守り活動、街頭監視活動、防犯や犯罪発生状況等に関する広報・情報発信活動など、住民の方々が安全で安心して暮らせるまちづくりのため地域の防犯力向上を目指して活動されています。

委員長 御園生 浩士
副委員長 小坂 和也
委員 金塚 和也
委員 小早稲 美穂
委員 綿貫 薫
委員 木内 信子

新しい門出を迎え、目の前に広がる未来に期待でいっぱいのことと思います。皆さんが、夢に向かい羽ばたくことを議員一同、応援しています。また、セーフティアドバイザーの方と共に、子どもたちの見守りや犯罪に巻き込まれないよう、自身の防犯意識の高揚に努めていただきますようお願いいたします。

編集にあたって

次の定例会は、6月4日から開会予定です。会期の概要は5月28日に開催予定の議会運営委員会会で決まります。会期等は町ホームページでお知らせします。詳細は、議会事務局にお問い合わせください。
☎(496) 1171
(内線 251・252)

6月定例会のお知らせ